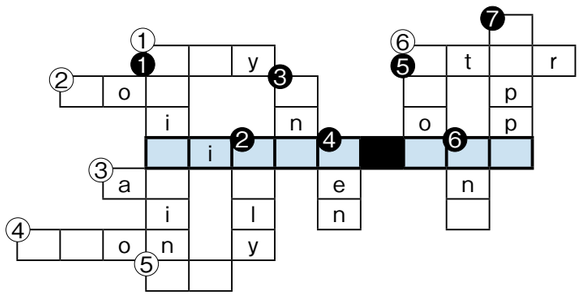
親子クイズ 494

Q ヒントの日本語を英語で書いてクロスワードパズルを完成してください。

どんな字ができましたか？夏の夜空に美しく見えますよ。



ヨコのヒント
①空
②めうし
③（私は）～です
④お月さま
⑤行く
⑥星

タテのヒント
❶水泳
❷ゆりの花
❸インク
❹円（お金）
❺ゆっくりした
❻ーと～
❼楽しい

【第493回解答】
答え：「ラーメン、ギョーザ、ゴマ団子」または、「ごはん、ラーメン、ギョーザ（２人前）」

★応募総数／117通

【第493回当選者】
岩目　麻貴（西山）
今井　里穂（駅前町）
上田　花奈（立田）
﨑山　志帆（立田）
山本　美智代（十市）

★正 解 率／95％

■応募締切／７月12日㈮必着
■あ て 先／〒７８３－８５０１
南国市大埇甲２３０１
南国市企画課「親子クイズ」係
＊はがきで応募
■賞　　品／正解者の中から抽選で、５名に図書カード（1,000円）を贈呈

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

市民からのお便り（親子クイズ）がんばって計算しました。当たるといいなぁ～。

こころふれあいつながって 31 人権学習シリーズ

我々はちょっとした余裕がある時、人に対して優しく接することが比較的可能です。例えば、車を運転する人で時間的な余裕があれば、強引な割り込みやスピードを出しすぎる、信号機が変わりそうなのに加速するといった行為がなくなるかもしれません。他人に先を譲ることが自然にできるようになるでしょう。反対に時間的な余裕がないと、少しのことを気にしてイライラし、それが原因で事故につながることになるかもしれません。

現代の社会には、人間関係や金銭・健康・将来のことなど人それぞれ様々なストレスが存在しています。自分の欲求がおおむね満たされている人にはちょっとした余裕があり、そういう人は他人のわずかなミスや言動を許容することができる、もしくは気にならない傾向にあると思います。

反対に、自分の欲求がほとんど満たされていないと感じ、閉塞感でいっぱいの人には余裕がなく、他人のささいなミスや言動が気になったりします。やがて腹をたて〝ガマンの限界〟を超えると大きな声を出したり、態度に現れたりするのではないでしょうか。

「ちょっとした余裕」

この〝ガマンの限界〟メーターが、余裕のある人には高めに設定され、余裕のない人には低めに設定されていると思います。

他人への配慮・気遣いは自分の余裕の有無に関係なしに必要です。しかし、余裕のある時にはできることが、そうでない時にはよほど意識しないとできません。自分の欲求が満たされていれば言うことはないのですが、世の中そう簡単にうまくいくことが少ないので、ほとんどの人はストレスをかかえながら生活をしています。

心に余裕のない時でも人の気持ちを考えることができる、他人にすこしでも幸せな気持ちになってもらいたいと感じることができる人が増え、またそれを実践できれば、より良い世の中になるのではないでしょうか。

＊このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

※お問い合わせは
人権啓発広報委員会
（☎８８０・６５６９）まで

にこにこライフ 156

「運動」が秘訣

佐竹（さたけ）　喜美江（きみえ）さん（植田）

去年の10月から週１回開催のオーガニックマーケットに野菜を出しています。消毒をしないので虫がついて大変ですが、娘婿が買ってくれた有機野菜の育て方の本を参考に、いろいろ勉強してがんばっています。だんだんお得意さんも増えてきて、次はどの野菜を出そうかと、開催される土曜日が待ち遠しいくらいです。

畑仕事以外にも、趣味のゴルフや地域活動への参加など、忙しい毎日を過ごしています。食べ物に気をつけ、暇を見つけては運動することが健康の秘訣ですね。

「毎日楽しいことばかり」と佐竹さん。どんなことに対しても楽しむ姿勢を私も見習いたいと思います。

ねんりんピックに！

松木（まつぎ）　良一（りょういち）さん（浜改田）

仕事は農業です。農業をしているとゆっくり休めるときがなくて大変ですが、やればやるだけ成果が出るのでやりがいがありますね。

趣味はサッカーです。10月には高知でねんりんピックが開催されるので、それを目標に練習しています。

三和体育会の会長もしていますが、最近はチーム数が減ってきましたね。なんとかしたいなと思っています。短気で、意見もいろいろと言いたい性格ですが、会長になってからは、取りまとめ役に徹しています。若い人たちの力になれたらなと思います。

「自分の意見をはっきり言うがモットーです」と松木さん。若い人たちからも頼りにされていることでしょう。

市民からのお便り（親子クイズ）数学が得意な娘に考えてもらいました。前回は解けなかったですが、今回はできました。

なんこく歴史散歩 第9回

―比江山と白鳳期の幻の寺院―「日吉神社と比江廃寺塔跡」

古代、律令制では、土佐は遠流（おんる）の地に定められ、都から遠く離れた場所とされていました。紀貫之の土佐日記に書かれた旅程は、55日間にもわたります。

比江の北にある小山を比江山といいますが、その由来は、国司が京の都から見える比叡山を懐かしんで名付けたともいわれています。

その麓にある日吉（ひえ）神社は、国司が比叡山から勧請（かんじょう）したと伝えられ、比江の地名もそれにちなんだものという説があります。

日吉神社

比江廃寺塔跡

紀貫之邸跡から東へ300ｍの国分川にほど近い位置に丸い穴が開いた巨大な石がある公園があります。

これは、８世紀以降に建てられた寺院の塔の礎石で、大きさは縦3.24ｍ、横2.21ｍあり、県内では最大規模です。

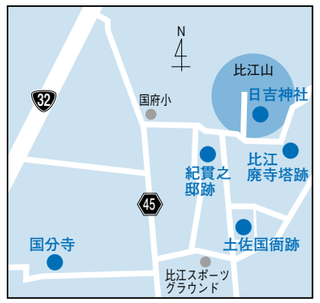
中央にある直径81㎝の穴は、塔の心柱を支えるためのもので、中心には、仏舎利（仏骨）を納めるための穴も開けられています。

発掘調査で大量に出土した瓦片の中には、白鳳期（７世紀後半）のものも含まれていますが、その時期の寺院の建物は、残念ながら見つかっていません。

当時の塔の高さは、礎石の柱穴の大きさから30ｍを超えると推測されており、これは、奈良の法隆寺五重塔と同じぐらいの高さです。

国の史跡に指定されており、地元の方々の手によって大切に守られています。

比江廃寺塔跡



※お問い合わせは
生涯学習課文化財係
（☎８８０・６５６９）まで